

2019年度ユマニテク看護助産専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人みえ大橋学園専門学校ユマニテク看護助産専門学校学校関係者評価委員会は、令和2年3月18日に「令和元年度学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和2年3月31日作成
学校法人みえ大橋学園
ユマニテク看護助産専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員（出席者）

1. 村瀬 泰史（医療法人 博仁会 村瀬病院グループ 理事長）
（代理）北 千加子（医療法人 博仁会 村瀬病院グループ 看護部長）
2. 古田 昌子（公益社団法人 三重県看護協会 常務理事）
3. 焼本 由美（医療法人 普照会 もりえい病院 統括看護部長）
4. 岸田 美奈（社会福祉法人 ユートピア ユートピア在宅介護支援センター 卒業生）
5. 藤田 泰樹（大橋学園高等学校 校長）
6. 吉田 節子（ユマニテク看護助産専門学校 看護学科 学校長）
7. 堀 重信（ユマニテク看護助産専門学校 看護学科 副学科長）
8. 松林 秀樹（ユマニテク看護助産専門学校 事務長）
9. 寺村 千鶴（ユマニテク看護助産専門学校 事務員）

以上9名

[欠席]

- 尾崎 郁子（ユマニテク看護助産専門学校 看護学科 学科長）

2. 令和元年度自己評価（令和元年度の学校運営等についての評価）

項目	評価・課題
(1) 教育理念・目標	<p>評価：ほぼ当てはまる～当てはまる（平均 3.8 点、23 点／24 点）</p> <p>課題：来る 2022 年度の看護カリキュラム改定を見据えて共育理念・目的の見直しを掛けているが進捗状況の停滞さは否めない。</p> <p>改善策：臨床判断能力が向上するような教育理念・目標作成について議論し、整備していく。</p>
(2) 教育目標	<p>評価：ほぼ当てはまる～当てはまる（平均 3.5 点、14 点／16 点）</p> <p>課題：教育目標は理念・目的と一貫性があり実現可能なものである。しかし、確認レベルであり教員間に周知徹底が望まれる。</p> <p>改善策：継続教育に反映できるシステム構築について議論し、取り組む環境とシステムを整えていく。</p>
(3) 教育課程・経営	<p>評価：ほぼ当てはまる～当てはまる（平均 3.8 点、76 点／80 点）</p> <p>課題：教育課程・理念・目的・目標は整備され学生にも周知しているが、学生の最終評価・研究授業・多職種連携などには取り組めていない状況である。</p> <p>改善策：教育評価・研究授業・多職種連携にも取り組む環境とシステムを整えていく。</p>
(4) 教授・学習・評価過程	<p>評価：やや当てはまる～当てはまる（平均 3.4 点 31 点／36 点）</p> <p>課題：授業評価や見直しは個人任せであり組織だったシステムが稼働していないため早急に検討する必要がある。</p> <p>改善策：授業評価のシステムを稼働させていく。</p>
(5) 経営・管理過程	<p>評価：やや当てはまる～当てはまる（平均 3.7 点 93 点／104 点）</p> <p>課題：防災規定の整備及びカリキュラム運営、授業実践へのフィードバックは十分とはいえない。</p> <p>改善策：防災規定の整備を行い、カリキュラム運営、授業実践へのフィードバックなどに取り組む。</p>
(6) 入学	<p>評価：当てはまる（平均 4.0 点、12 点／12 点）</p> <p>課題：なし</p> <p>改善策：なし</p>

<p>(7) 卒業・就職・進学</p>	<p>評価：ほぼ当てはまる～当てはまる（平均 3.4 点、20 点／24 点） 課題：卒業生の支援体制については個々で成り立っているが全体として体制の統一ができていない。 改善策：組織として卒業生の支援体制統一システムを構築していく。</p>
<p>(8) 地域社会/国際交流</p>	<p>評価：やや当てはまる～当てはまる（平均 3.1 点、19 点／24 点） 課題：学園として地域に看護の役割を示す具体的な活動が行われていない。 改善策：学園主催のユマフェス（地域イベント）等に協力をする。</p>
<p>(9) 研究</p>	<p>評価：ほぼ当てはまる～当てはまる（平均 3.3 点、10 点／12 点） 課題：教員の積極的な研究活動ができてはいない。 改善策：授業や実習引率と研究活動の両立ができるためのシステム構築をしていく。</p>

3. 令和元年度 学校関係者評価（令和元年度の自己評価についての評価）

項目	評価・課題
<p>(1) 教育理念・目標 「教育理念・目的は法的整合性と独自性があるか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(2) 教育目標 「教育目標は、理念・目的と一貫性があるか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(3) 教育課程・経営 「教育課程は看護学の内容・求める学習の到達及び学生の成長発達について明確な考え方と根拠をもって編成されているか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(4) 教授・学習・評価過程 「授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生の学習成果を考慮して科目が配置されているか。」</p>	<p>ほぼ当てはまる 日頃より授業・実習などにご尽力をいただいている。 次年度より授業・実習評価に取り組んでいくと伺ったが学生による評価は必要なものなので是非本稼働させていただきたい。 翌年につながる教育活動を期待している。</p>
<p>(5) 経営・管理過程 「養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示しているか。」</p>	<p>当てはまる</p>

<p>(6) 入学 「教育理念・目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べているか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(7) 卒業・就職・進学 「卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(8) 地域社会/国際交流 「地域社会との連携に向けて、地域のニーズを把握しているか。」</p>	<p>当てはまる</p>
<p>(9) 研究 「教員の研究活動を保証（時間的、財政的、環境的）にしているか。」</p>	<p>当てはまる</p>

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
<p>自己評価結果についての全体的な評価・意見等</p>	<p>全体的に、自己評価では、ほぼ当てはまる～当てはまるのレベルである。今後は、評価の中で抽出された課題などについては工夫改善を重ね、よりきめ細かな学校運営を目指していく。</p>